

## 令和 3 年度帰宅困難者対策実働訓練 実施報告書

## 1. 訓練目的

- ・ 図上訓練で検討した内容を、実際の一時退避場所や一時滞在施設を使用して検証する
- ・ 災害時における情報発信ツールの広報

## 2. 実施日時

令和 4 年 1 月 20 日（木）13：30～16：00

## 3. 実施場所

みなとのもり公園及び神戸三宮シアター・エートー

## 4. 参加機関

三宮駅周辺地域帰宅困難者対策協議会、一時滞在施設、りんくうタウン協議会、  
大阪市危機管理室、兵庫県防災企画局、関西広域連合、劇団員の皆様

参加人数：約 80 名（うち帰宅困難者役：約 60 名）

## 5. 実施概要

項目	時間	概要
第 1 部訓練	13：30～14：10 (40 分)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 訓練説明</li><li>● 関西広域連合による情報発信ツールの紹介</li><li>● ALSOK と連携した帰宅困難者の誘導</li><li>● 一時滞在施設への帰宅困難者の振り分け</li><li>● 情報共有システムによる情報発信</li></ul>
第 2 部訓練	15：00～16：00 (60 分)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 帰宅困難者の受け入れ</li><li>● 一時滞在施設の運用についての検証</li><li>● 一斉帰宅抑制の広報</li><li>● 訓練終了挨拶</li></ul>

## 6. 訓練実施状況

写真 1 訓練説明



訓練テーマや、訓練概要の説明を行った。

写真 1 情報発信ツールの紹介



関西広域連合により、帰宅困難者 NAVI 等の情報発信ツールの紹介を実施した。

写真 3 ALSOK による誘導



駅想定エリアにて、ALSOK がアナウンスを行い、支援が必要な帰宅困難者に対して、一時退避場所エリアへの誘導アナウンスを行った。

写真 4 帰宅困難者の振り分け



一時退避場所エリアに集まった帰宅困難者を、配慮が必要なグループから順に、案内票により一時滞在施設へ振り分けた。

写真 5 一時滞在施設への入所



一時滞在施設に指定されている神戸三宮シアター・エートーへ実際に入所し、帰宅困難者の受け入れ訓練を行った。

写真 6 一時滞在施設運営検証



神戸三宮シアター・エートー内にて、演劇や映像を使用して、一時滞在施設の運営方法についての検証と、一斉帰宅抑制の広報を実施した。

## 7. 訓練実施後の検証

### ① ALSOK と連携した誘導について

今回の訓練では駅想定エリアにおけるアナウンスと、一時退避場所エリアにおける警備・誘導を ALSOK と連携して行ったが、より効果的な誘導方法について今後も ALSOK と連携した検討を実施し、今年度策定予定の「三宮駅周辺地域帰宅困難者誘導マニュアル」に反映させていく必要がある。

### ② 帰宅困難者の振り分け方について

今回の訓練で 60 組の帰宅困難者を 15 分間で振り分けを行ったが、計画上ではパーソントリップ調査で想定している 18,000 人の行き場のない帰宅困難者を振り分ける必要があるため、振り分け時間の短縮を検討する必要がある。本課題については、配慮有グループと配慮無グループを 2 つに分け、同時並行で案内票による振り分けを行うなど、より効率的に帰宅困難者をトリアージできる方法や手段について、検討を進めていく。